



がっよていひょう ココロ4月予定表



日	月	火	水	木	金	土
 <p>新型コロナウイルスの影響により、今後スケジュール等が変更になる可能性があります。 ご不明な点は、各事業所にお問い合わせ下さい。</p>						
4	5 島田地活:休み	6 島田地活:サテライト 10:00~14:30	7 はぐるま・さがら: 草球クラブ 13:00~15:00 こむぎ:市役所販売	8	9 さがら:ミーティング	10
11	12 島田地活:休み ドレミ:ニコニコク リーン・ミーティ ング	13 はぐるま・あじさい: 語ろう会11:00~	14	15	16	17 島田地活: 家族茶話会
18	19 島田地活:休み	20	21 島田地活:草球同好会 13:00~14:30 ドレミ:市役所販売 島田地活: なないろの会	22 島田地活:こむぎ:語 ろう会13:30~15: 00	23	24
25	26 島田地活:休み	27 あじさいミーティング 島田地活:サテライト 10:00~14:30	28 はぐるま・さがら 草球クラブ 13:00~15:00	29 皃紅の白 	30	

特定非営利活動法人



だい 第182号 2021年4月

<http://www.hcc-kokoro.jp>



- ハートケアセンター(地活)、こむぎ(就B)、
ことのは(自立生活援助)
島田市島581-14
Tel.0547-46-5561 FAX 0547-46-5566
- ワークステップドレミ(就B) 島田市元島田9040
Tel.0547-37-7865 FAX 0547-32-9309
- りなむ(就B) 島田市金谷中町2100-1
Tel.0547-46-1687 FAX 0547-45-5165
- さがら作業所(就B) 牧之原市菅ヶ谷219-1
Tel.0548-52-7447 FAX 0548-28-6622
- はぐるま(地活)・あじさい(就B)
牧之原市細江701-4
Tel.0548-22-5529 FAX 0548-23-9340
- 相談室(島田市、牧之原市、吉田町)

しんねんど むか 新年度を迎えて

新しい年度を迎えるにあたり、当法人はさらに大きな一歩を踏み出すこととなります。まず、一緒に取り組む仲間が増えること！これからのココロにとって大きな力になると確信しています。

そして、2年前より行政(島田、牧之原、吉田、川根本町)と議論をしてきた基幹相談支援センターがスタートし、当法人がその事業を受託することとなりました。基幹相談支援センターは、「地域における相談支援の中核的な役割をにない、多様な生き方を認め合い、自分らしく暮らすことのできる地域づくり」を目指します。

“私たちの実践はどこに向かうのか”、そのことを常に問い続けながら、理念をぶらすことなくエネルギーに組み込んでいきたいと思ひます。

理事長 菅原小夜子

あたらし むちょう しゅうにん 新しい事務長が就任しました

4月1日から事務長に就任しました、白井です。昨年度末まで建築職員として、県庁で働いていましたが、縁あってこちらでお世話になることになりました。

昨今、他の業種では AI やリモート化などいわゆる「脱直接」が進んでいます。一方で福祉業界は、効率化が進んでも「直接支援」が重要な要素として残る、「人」に支えられて成り立っている、数少ない業界です。

障害のある方が利用しやすいことはもちろん、働く職員の皆さんの働きやすい職場づくり、「挑戦することのできる」体制づくりを、より進めていくことが私の重要な役割のひとつだと認識しています。

他の法人の模範となるよう、日本一の法人となるように皆さんと一緒に歩んでいけたらと思ひます。

事務長 白井公一

SDGs

ココロの取り組み

ココロは誰もがごく当たり前前に安心して生活できる地域を目指しています

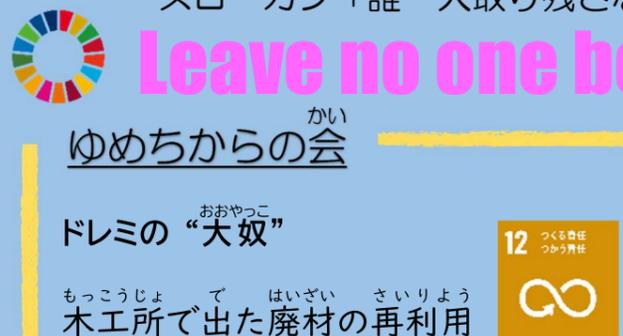
スローガン「誰一人取り残さない」

Leave no one behind

ゆめちからの会

ドレミの“大奴”

木工所で出た廃材の再利用



【つばやきリレー】

ファイナルファンタジーのリメイク版をクリアしたぞ！
仕事は二の次、
ゲーム頑張るぞ！
さがら作業所 M. Y



なないろ短歌

なないろの会 みづほ



こうし 講師・ファシリテーター ようせいけんしゅう 養成研修に さんか 参加しました

2/26(土)2/27(日)に北海道、千葉、静岡、兵庫、鹿児島と全国5ヶ所をつないだ「障害者ピアサポーター研修を担う講師・ファシリテーター養成研修」があり、ピアスタッフ5名が参加しました。この研修は、厚生労働科学研修費補助金障害者政策総合研修事業で、質の高い障害者ピアサポーターを養成するため、講師・ファシリテーターを育てることを目的としています。今回の研修に参加し、ファシリテーターとしての心得や技術を学んだとともに、全国をつないでピアサポートを体感しました。今回の貴重な経験が、さらなる飛躍の可能性を秘めています。

令和3年度障害福祉サービス等報酬改定において、ピアサポーターの専門性が「体制加算」として評価されました。従来専門性の評価は、「国家資格」等で担保されてきました。では、ピアサポーターの専門性は、何が根拠となるのでしょうか？実は、その養成ためのカリキュラムは、完成しています。しかし、それを担う講師が必要です。今までであれば、それを専門職が担ってきましたが、ここからが今回の研修の大きな違いです。ピア自身が主役（講師）となり、専門職とコラボしながら実施する姿を目指します。

私は、この研修を通して、真の「協働」の実現と、まさに同志として切磋琢磨しながら、互いの力を高めていける更なる一歩となることを確信しています。

理事長 菅原

気楽？な気持ちで参加した研修でしたが、蓋を開けてみると、内容が高度すぎて、ついていくのがやっと…

みんなと一緒にだったから、やり通せたと思っています！すべての人に感謝しつつ、研修内容を今後活かしていきたいです。

古橋

他の都道府県のピアの方々とオンラインで、場の共有ができ、良かったです。エネルギーももらえ、今後の活力にもつながっていくと思います。

ファシリや板書なども自分らしくできましたが、さらに上を目指して今後も頑張りたいです。

廣瀬

研修での体験があったからこそ、「やっぱりやらないと分からない」と挑戦することの大切さを知りました。苦手な人前で話すことにも挑戦！

亀山

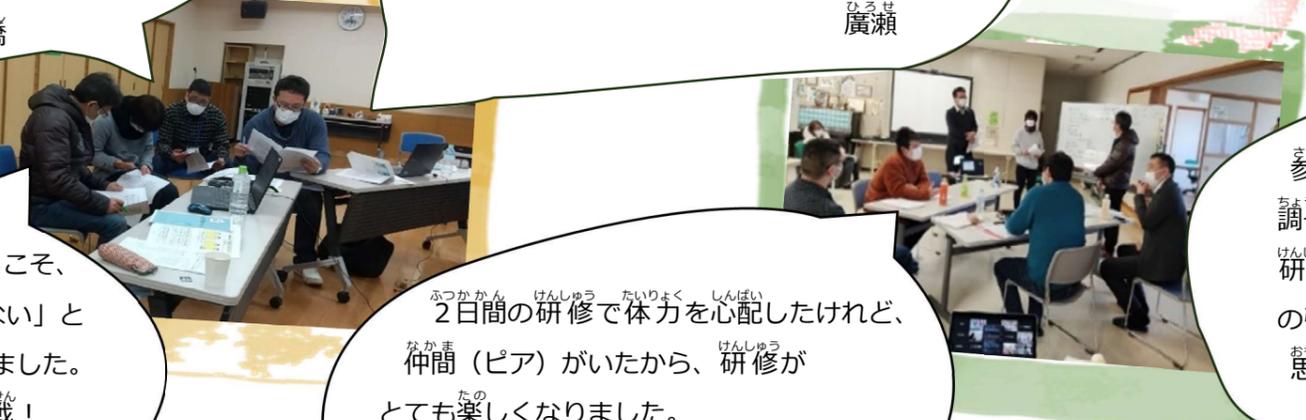
2日間の研修で体力を心配したけれど、仲間（ピア）がいたから、研修がとても楽しくなりました。

今後は、支え合った仲間の存在をより広めていきたいです。

中島

参加する前から緊張していて、1日目で調子を崩し大変でした。しかし、最後まで研修の場に居られた事は、これからの自分の引き出しが増えることにつながると思います。

久保由



コラボ

ピアサポーター × 精神保健福祉士協会

今回の研修に職能団体として参加した意義は、ピアサポーターの専門性に関連した制度理解と大局的な視点の確立、ピアサポーターとの協働における自分たちの存在意義の確認です。

今回の研修で語り合い学び合う参加者の姿を見て、ピアサポートの力を改めて実感し感動しました。お互いの専門性を活かしてあえる存在として、これからもみなさんと共に歩むことができるよう、私たちも学び続け繋がりを創っていきたく思います。

静岡県精神保健福祉士協会 山口雅弘・鈴木伸二



みなさん、SDGs（持続可能な開発目標）を知っていますか？

持続可能な開発とは、遠い未来も続けられる発展の仕組みをつくることです。

キャッチフレーズは、「地球上の誰一人として取り残さないこと（leave no one behind）」

今回の取り組みもまた、これから誕生してくる未来のピアサポーター（仲間）とともに成長し続けるしくみのひとつです。

今回のキーワードは



ピアスタッフは、仲間が自分の持ち味を活かしながら、生きがいをもって、住み慣れた地域で暮らし続けることを目指していきます。